

株式会社クロタニコーポレーション

2011年5月6日

市場	東証 (市場第2部)	業績 (百万円)	2009/8	2010/8	2011/2(2Q)
上場承認日	2011/5/6	売上高	35,112	48,319	27,005
上場予定日	2011/6/9	営業利益	1,188	1,463	1,694
主幹事証券	野村証券	経常利益	567	1,175	1,584
監査法人	有限責任監査法人トーマツ	当期利益	285	645	855
URL	http://www.kurotani.co.jp/	総資産	13,084	14,439	15,346
証券コード	3168	純資産	4,209	4,735	5,590

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2010/8期)

- ・ 同社は、銅を中心とした非鉄金属関連ビジネスを行っており、①インゴットの製造・販売、②スクラップの加工・販売、③美術工芸品の製造販売を行っている。特徴的なのは、インゴットとスクラップの双方を同時に取り扱っていることであり、これにより雑多な非鉄金属の一括買いを可能としているところである。例えば、インゴットの製造のみを行っている業者では、製造対象金属のスクラップ商材しか仕入れられないが、同社はスクラップ素材のままでの販売も行っているため、仕入対象の拡大を可能にしている。
- ・ ①は、銅及び銅合金のインゴットを中心に、形状・重量の異なる約50品種を製作しており、船舶のスクリュウ材となるアルミ青銅や、水洗金具等に利用される青銅などが中心品種となる。②では、約150品種の非鉄金属スクラップについて選別・プレス等を行い、銅線・銅管として国内外の電線・銅精錬メーカーに販売するほか、自社製作のインゴット用材料としても利用している。③は、美術工芸品の製造販売・伸銅品の仕入・販売を行っており、モニュメント・置物・仏像・ジュエリーなどを取り扱っている。
- ・ 事業別の売上高は、①212億円(2011/2:2Qは112億円)、②263億円(同154億円)、③6億円(同3億円)であり、①と②が約半分ずつを占めている。なお、三菱マテリアル・三菱伸銅・現代重工の3社への売上高が、各60億円弱ずつ存在しており、3社への売上だけで全体の1/3強を占めている。また、金属需要が旺盛なアジア(韓国・中国・タイ等)を中心に、売上高の30~40%が輸出されている。
- ・ 創業は明治3年であり、現社長の曾祖父が銅地金の販売を行う個人商店を開業したことが起源である。創業当初から富山を拠点としており、現在は、富山県に本社及び工場、東京・新潟に営業所が設置されている。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2010/8期)

- ・ 総資産は144億円。主に、現預金28億円(うち外貨建10億円)、営業債権54億円、在庫16億円、有形固定資産24億円。営業債権は売上の1.35ヶ月分と意外とサイトが短い。有形固定資産は、富山本社・工場の17億円が中心。
- ・ 負債は97億円。主に、仕入債務12億円、有利子負債74億円。総資産の半分を有利子負債が占めている計算になるが、2008/2期の115億円(総資産の62.5%)と比べると減少はしている。なお短期借入金(36億円)の他に、長期借入金と社債で一年以内に返済・償還を迎えるものが24億円存在している。
- ・ 売上高は483億円、粗利26億円。粗利率は5.4%と製造業としてはかなり低い水準である。製造原価のほぼ100%を材料費が占めており、金属相場の変動により買取価格、ひいては粗利率が大きく影響を受けると想定される。販管費(11億円)は、主に販売諸掛4.5億円と人件費3.1億円であり、結果として営業利益率(3.0%)も、高くはない水準である。また、営業外項目では、為替差損が2億円(2009/8期は5億円)計上されているほか、少額ではあるがデリバティブ運用損が計上されており、為替・商品相場が業績へ与える影響も少なからずあることが見て取れる。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・ 調達予定資金は10.7億円(@1,200引受手数料等考慮後)、有利子負債の返済に9.4億円を充当し、残額は本社工場の設備投資資金とする予定。なお、株価1,200円とすると時価総額は84億円であり、直前期利益ベースでPERは13倍程度。
- ・ 同社ビジネスは、非鉄金属相場と為替相場の影響を強く受ける。非鉄金属相場はロンドン金属取引所(LME)の相場が中心となっており、先物等を通じてリスクヘッジを図ってはいるものの、相場変動により保有在庫の評価及び販売時の利鞘に影響を受ける。
- ・ 株主構成(IPO前)は、創業家社長(直接65.6%保有)のほか、創業家一族で議決権の98.6%と、株式のほぼ全てを保有している。その他の株主は、従業員持株会(0.4%)、役員(0.7%)位である。なお、ストックオプションは存在しない。また、売出は社長のみであるが、売出後も議決権の40.8%(一族では69.2%)を保有し続ける見込であり、経営に大きな影響力を保持したままである点は変わらない。
- ・ IPO前の資本移動は、社長→親族の移動が一度と、従業員持株会への割当が一度のみであり、シンプルである。
- ・ 役員構成は取締役6名、監査役3名。取締役には社長以外に血縁者は名を連ねていないうえ、従業員にも存在しないようであり、後継者は血縁関係のない者になる可能性があり得る。また、財務担当役員は富山県警のOB(署長経験者)であり珍しい。

© (株)アカウンティング・アシスト (無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがあります。投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。